

平成２９年度　《ＰＴＡ役員によるアンケート結果：後期》

(1) 学校は教育目標や教育方針を明確に伝えている。	(2) 学校の様子、教育活動がよく理解できている。	(3) 学校では楽しく、わかりやすい授業が行われている。	(4) 学校は生徒の人間性や人権を尊重した接し方ができている。
(5) 学校は、様々な生徒指導上の問題を見逃さず対応できている。	(6) 学校は保護者からの連絡や相談に迅速且つ適切に対応してくれている。	(7) 学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きと活動している。	(8) 学校行事の時期は適切である。
(9) 学校行事の内容は適切である。	(10) 学校は諸活動(含む部活動)に意欲的に取り組んでいる。	(11) 学校は、保護者の来校時や電話の対応など接遇のマナーを心得ている。	(12) 学校は事故防止等に配慮し、危機管理体制が整っている。[不審者対策パトロール・不審者情報のお知らせ等]
(13) 開かれた学校として学校公開、学年便り、学級通信、学校HP等で学校の様子を発信できている。	(14) 子どもの家庭学習習慣は定着し、自学自習ができている。	(15) 家庭では学校の話など子どもとコミュニケーションが図れている。	(16) 家庭では社会ルール、規範意識の高揚に努めている。
<p>ＰＴＡ役員によるアンケートにおいては、例年通り全般的にＡ，Ｂ評価が多い結果になっている。概ね前期結果と大きな差は出ていない。</p> <p>前期の評価と比べ、Ａ評価が顕著に増えたのは「学校の様子、教育活動がよく理解できている」という設問(２)で、約３０％近く上がった。他にも設問(１４)の「子どもの家庭学習習慣は定着し、自学自習ができている」の項目では依然としてＣ評価が３５％ほどと高いが、Ａ評価は２０％近く上がった。</p> <p>逆に設問(１０)の「学校は諸活動に意欲的に取り組んでいる」では約３０％ＡがＢに流れた。</p> <p>上述の設問(１４)については、学力の向上に不可欠の要素である家庭学習の定着の不足を示している。このことについては、生徒アンケートにおいても、例年『家庭学習の習慣化』という項目でＣ，Ｄ評価が多くなっていることから、小中で連携しながら、家庭学習の定着を図る取組・学力向上の取組を進めているが、さらに徹底する必要がある、ご家庭の協力も得ながら進めていきたい。</p>			